「古代の銅生産シンポジウム・in長登」開催される

去る九月一・二日、山口県美東町にて「古代の銅生産シンポジウムin長登」が、同町主催で開催され、木簡学会も後援した。初日には、八木充氏「律令国家と長登銅生産施設」、近藤喬一氏「東アジアの青銅生産について」、羅享用氏「韓国の古代金属生産事情」および盧泰天氏の補助報告、という国際色豊かな基調講演の後、長登銅山跡の現地見学、銅精錬復元実験の見学が行なわれた。二日目は遺構・遺物・金属技術・顔料・分析成果・文字資料といった各分野からの報告の後に、討論が交わされた。参加者は、全国・町内から延べ九六〇名余りで、盛会の内に閉会した。

また、シンポジウムにあわせて「長登銅山跡出土木簡展」が、会場に隣接する町民センターにて開催された。保存処理済み木簡が展示され、解説図録も刊行された。A4判八六頁（カラー図版八頁）、長登銅山跡出土の主な木簡二〇三点の写真・釈文を掲載しており、一冊一五〇〇円（送料別）で購入可能。購入希望の場合はFAXで美東町教育委員会に申し込む。

美東町教育委員会

〒七五四―〇二一一　山口県美祢郡美東町大田

FAX　〇八三九六―二―五五五六　（電話　五五五五）